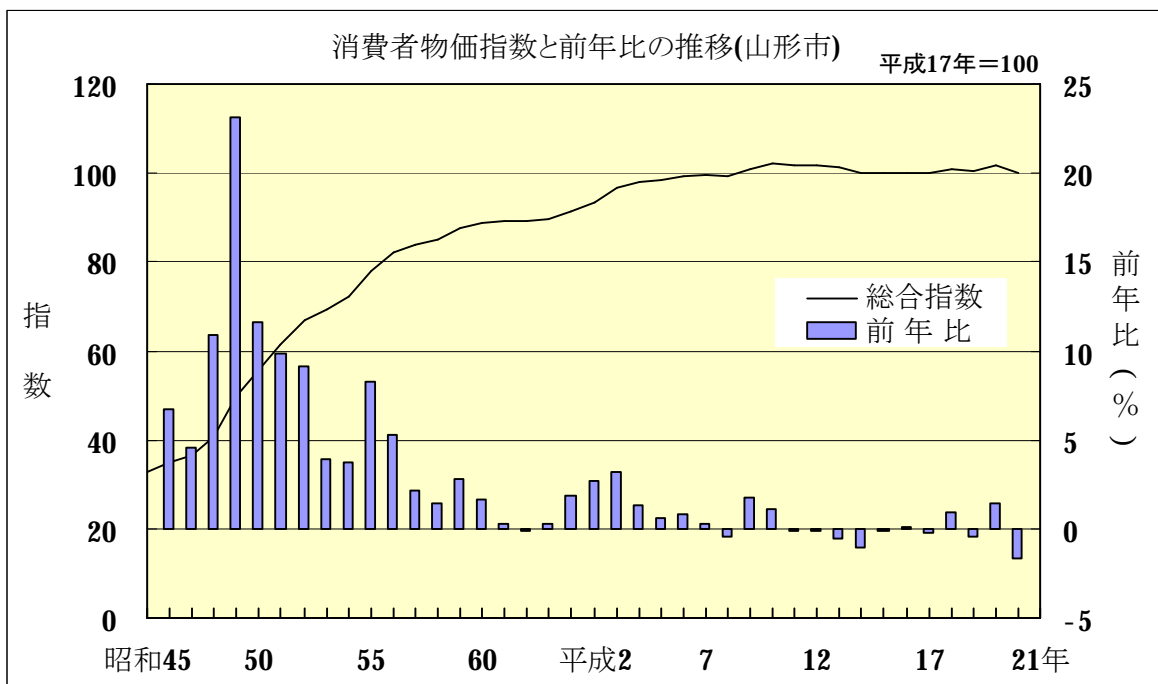


平成 17 年基準 山形市消費者物価指数

平成 21 年平均



平成 21 年 山形市消費者物価指数

平成 21 年平均

1 概 況

- ~~~~~
- (1) 総合指数（平成 17 年=100）は、100.2 となり、前年比は 1.7% の下落となった。この下落幅は、昭和 46 年以降最大の下落となった。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は、99.9 となり、前年比は 1.6% の下落となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は、98.0 となり、前年比は 0.7% の下落となった。
- ~~~~~

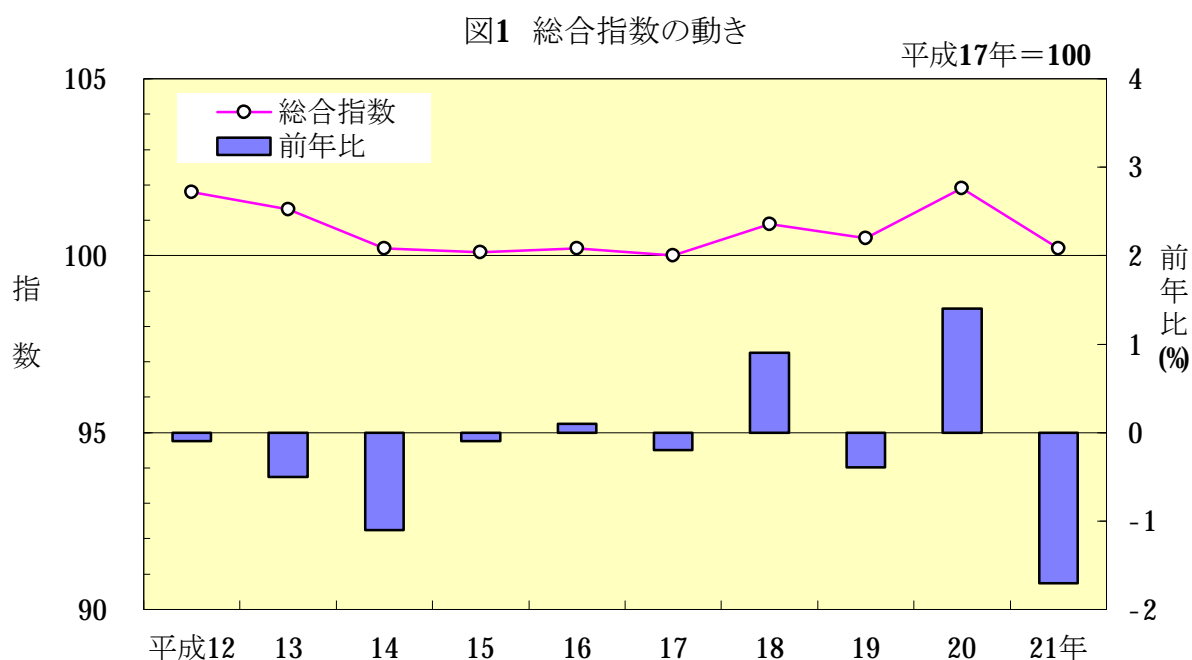


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数及び前年比

(平成17年=100)

		平成12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総 合	指数	101.8	101.3	100.2	100.1	100.2	100.0	100.9	100.5	101.9	100.2
	前年比	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	0.9	▲ 0.4	1.4	▲ 1.7
生鮮食品を 除く総合	指数	102.2	101.2	100.1	99.9	99.9	100.0	100.4	99.9	101.5	99.9
	前年比	0.4	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 0.2	0.0	0.1	0.4	▲ 0.5	1.6	▲ 1.6
食料(酒類を除く) 及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	-	-	-	100.0	99.7	98.7	98.7	98.0
	前年比	-	-	-	-	-	-	▲ 0.3	▲ 1.0	0.0	▲ 0.7

注) ▲はマイナスを表す(以下同じ)。

(1) 過去10年の総合指数の動き

- 平成12年 生鮮食品、公共サービス料金、外食などの値下がりにより0.1%の下落。
- 平成13年 教養娯楽用耐久財、衣料、通信等の値下がりにより0.5%の下落。
- 平成14年 食料、教養娯楽用耐久財、他の光熱(灯油)等の値下がりにより1.1%の下落。
- 平成15年 保健医療サービス等の値上がりしたが、シャツ・セーター・下着類の値下がりなどにより0.1%の下落。
- 平成16年 生鮮食品(野菜、果物等)等の値上がりにより6年ぶりに0.1%の上昇。
- 平成17年 光熱・水道(灯油)等が値上がりしたが、住居(家賃、設備修繕・維持)、生鮮食品(魚介、果物等)等の値下がりにより2年ぶりに0.2%の下落。
- 平成18年 光熱・水道(ガス、灯油)、生鮮食品(野菜、果物等)等の値上がりにより2年ぶりに0.9%の上昇。
- 平成19年 家賃、教養娯楽用耐久財等の値下がりにより2年ぶりに0.4%の下落。
- 平成20年 光熱・水道(ガス、灯油)、食料(穀類、生鮮野菜等)、交通・通信(自動車等関係費)等の値上がりにより2年ぶりに1.4%の上昇。
- 平成21年 食料(菓子類、穀類等)などが値上がりしたが、交通・通信(自動車等関係費)、光熱・水道(灯油)、被服及び履物(洋服等)等の値下がりにより2年ぶりに1.7%の下落。

(2) 平成21年の月別総合指数の動き

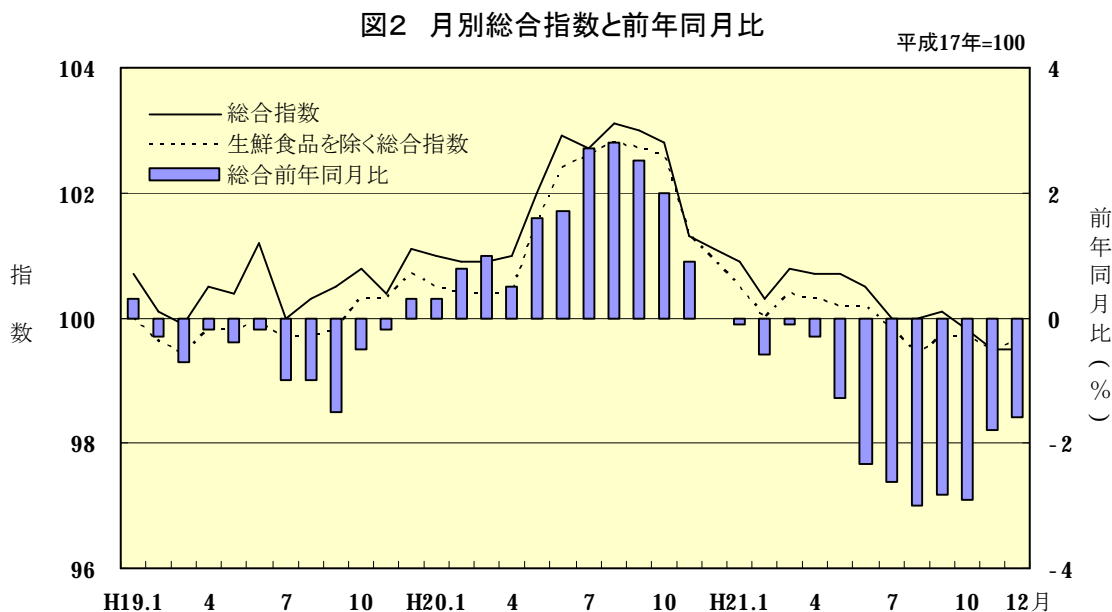


表2 10大費目別平均の指数及び前年比(山形市)

平成17年=100

指数	総合				食料	住居	光熱・水道	用品・家事	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費		
	全国	山形市														
		総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品を除く*												
指数	100.3	100.2	99.9	98.0	104.6	106.9	104.1	98.9	105.6	87.2	99.3	98.6	98.2	102.4	94.8	101.5
前年比(%)	▲1.4	▲1.7	▲1.6	▲0.7	0.4	▲2.6	1.1	0.2	▲7.0	▲3.2	▲3.6	▲0.5	▲4.5	0.6	▲1.5	▲1.0
寄与度	▲1.40	▲1.67	▲1.50	▲0.47	0.10	▲0.12	0.23	0.04	▲0.61	▲0.10	▲0.16	▲0.02	▲0.70	0.02	▲0.13	▲0.06

*食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合

※各寄与度は、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率のうちどの程度寄与したかを示したものです。

2 平成21年1年間の10大費目指数の動き

平成21年平均の10大費目別指数を前年比で見ると「食料」、「住居」、「教育」の費目で上昇した。一方、「交通・通信」、「光熱・水道」、「被服及び履物」などは下落した。

下落した費目の内訳を寄与度で見ると、ガソリンなどを含む「自動車等関係費」、灯油を指す「他の光熱」、男子コートなどを含む「洋服」、パソコンなどを含む「教養娯楽用耐久財」などの下落が要因となっている。

△上昇した費目

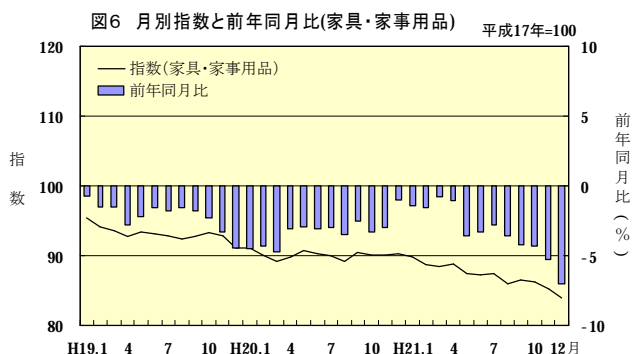
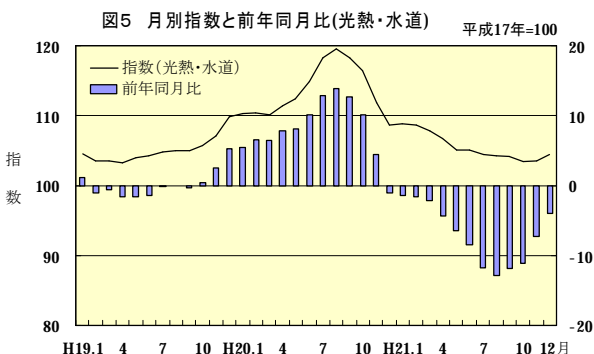
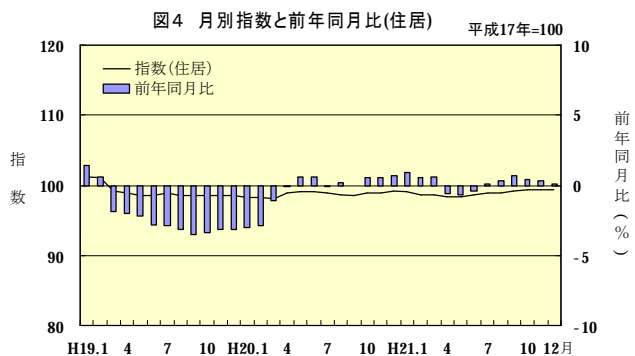
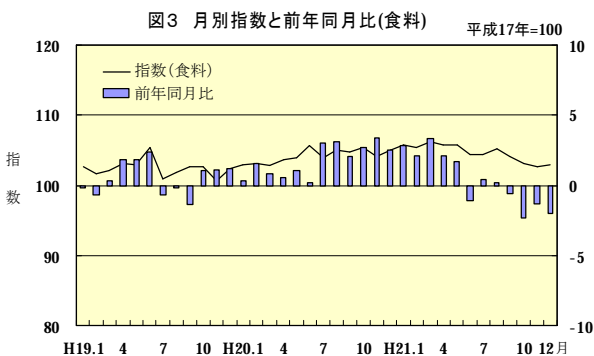
10大費目	前年比	(寄与度)	中分類	前年比	(寄与度)
「食料」	0.4%	(0.10)	菓子類	3.4%	(0.09)
			穀類	3.1%	(0.06)
			外食	1.1%	(0.06)
			野菜・海藻	▲2.4%	(-0.07)
			飲料	▲3.4%	(-0.04)
「住居」	0.2%	(0.04)	家賃	0.2%	(0.04)
「教育」	0.6%	(0.02)	授業料等	0.4%	(0.01)

▼下落した費目

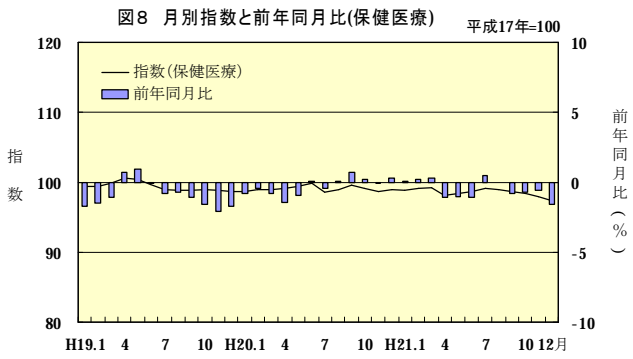
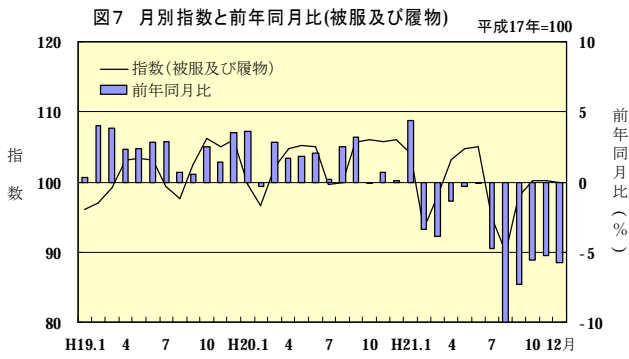
10大費目	前年比	(寄与度)	中分類	前年比	(寄与度)
「交通・通信」	▲4.5%	(-0.70)	自動車等関係費	▲6.3%	(-0.67)
「光熱・水道」	▲7.0%	(-0.61)	他の光熱	▲39.9%	(-0.62)
「被服及び履物」	▲3.6%	(-0.16)	洋服	▲5.0%	(-0.09)
「教養娯楽」	▲1.5%	(-0.13)	教養娯楽用耐久財	▲18.0%	(-0.10)
「家具・家事用品」	▲3.2%	(-0.10)	家庭用耐久財	▲12.2%	(-0.08)
「諸雑費」	▲1.0%	(-0.06)	身の回り用品	▲5.9%	(-0.05)
「保健医療」	▲0.5%	(-0.02)	医薬品・健康保持用摂取品	▲3.2%	(-0.04)

など

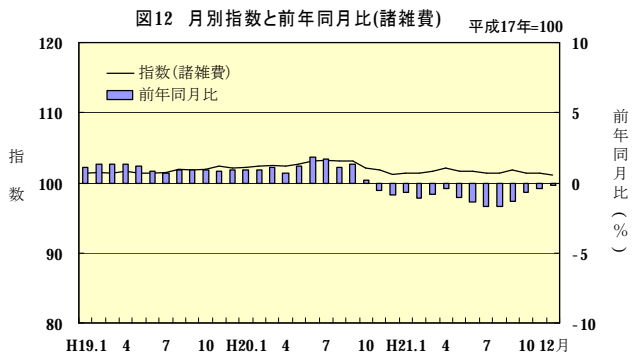
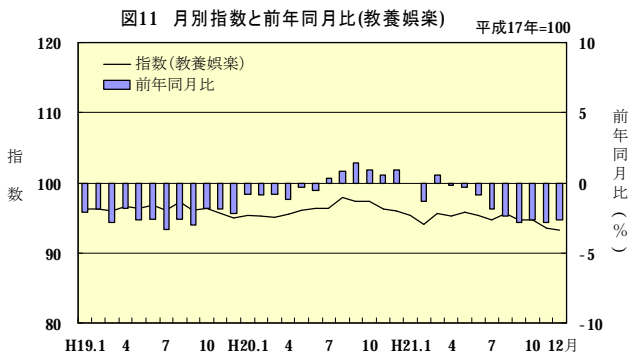
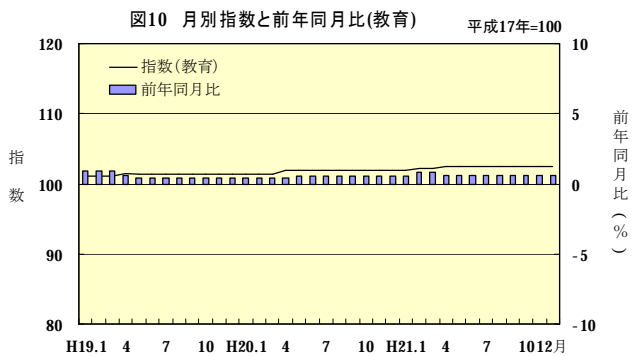
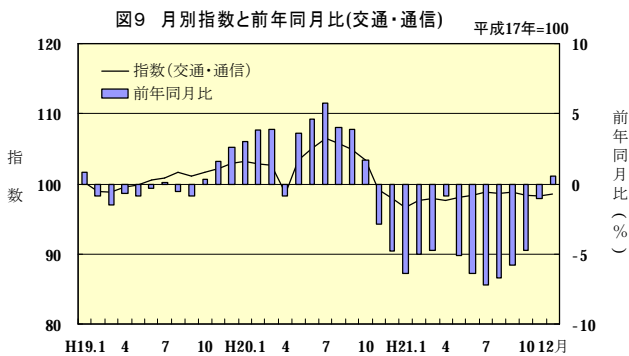
(1) 10大費目指数の月別の動き



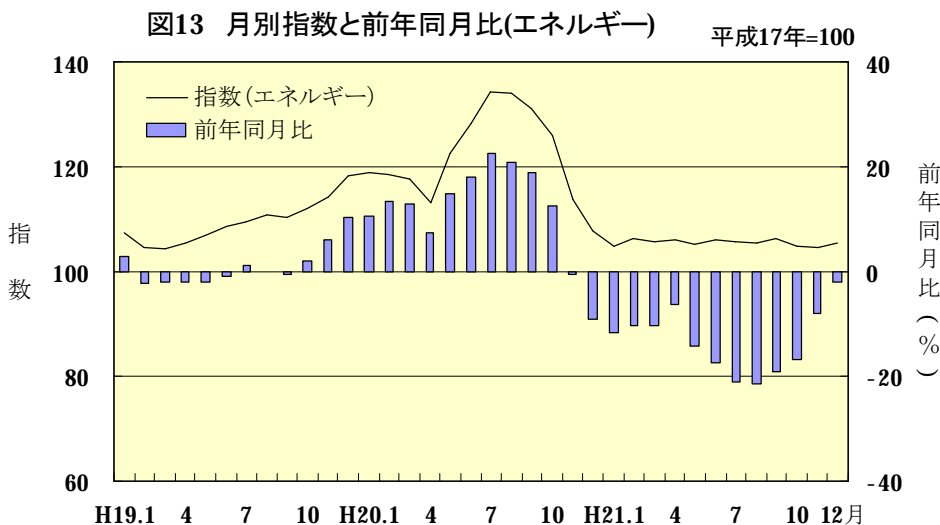
※図5の「前年同月比」の目盛幅は他のグラフと異なる。



※図7の平成21年8月の「前年同月比」は、△10.0%である。



(2) エネルギー指数の月別の動き



※ エネルギー指数とは、品目別指数のうち、「電気代」、「都市ガス代」、「プロパンガス代」、「灯油」及び「ガソリン」の指数を合わせたものをいう。